

# 平成26年度 海老名市財務4表の概要

## 貸借対照表【BS:Balance Sheet】

平成27年3月31日現在の海老名市の財政状態(資産・負債・純資産の残高)を示しております。資産合計に対する純資産の割合が、単体では86.3%、連結では86.2%と高い値を示しております。負債は将来世代の負担となりますが、資産に比べ非常に低い値となっており、将来世代の負担が軽減されております。

資産の部			負債の部			
	単体	連結		単体	連結	
1 金融資産	(1) 資金 (現金・預金など)	2,726	3,382	(1) 公債(短期) (翌年度償還予定の地方債)	3,215	3,258
	(2) 債権 (貸付金など)	2,936	2,981	(2) その他 (賞与引当金など)	855	1,222
	(3) 有価証券	9	10	(1) 公債 (翌々年度以降償還予定の地方債)	36,857	36,974
	(4) 投資等 (基金など)	5,852	5,990	(2) 引当金 (退職給与引当金)	5,692	5,872
2 非金融資産	(1) 事業用資産 (庁舎・学校など)	102,680	103,734	(3) その他の非流動負債	0	0
	(2) インフラ資産 (道路・公園など)	226,211	227,380	<b>負債合計</b>	<b>46,619</b>	<b>47,326</b>
	(3) その他の資産 (繰延資産)	0	0	<b>純資産の部</b>		
	<b>資産合計</b>	<b>340,414</b>	<b>343,477</b>	<b>純資産合計</b>	<b>293,795</b>	<b>296,151</b>
				<b>負債及び純資産合計</b>	<b>340,414</b>	<b>343,477</b>

## 海老名市財務4表の作成範囲

作成区分	連結財務4表	
	単体財務4表	
対象範囲	普通会計財務4表	国民健康保険事業特別会計 下水道事業特別会計 介護保険事業特別会計 後期高齢者医療事業特別会計
	一般会計	高座清掃施設組合 広域大和斎場組合 神奈川県後期高齢者医療広域連合 海老名市土地開発公社

## 市民一人あたりの財務4表(単位:千円)

【BS】	資産	単体	連結	負債・純資産	
				単体	連結
金融資産	90	97	97	流動負債	32
				非流動負債	332
非金融資産	2,568	2,585	2,585	純資産	2,294
				負債・純資産合計	2,658
資産合計	2,658	2,682	2,682	2,658	2,682

【PL】	経常費用	
	単体	連結
	390	464
経常収益	29	70
	361	394

【NWM】	前期末残高	
	単体	連結
	2,279	2,301
当期変動額	15	11
	2,294	2,312

【CF】	期首資金残高	
	単体	連結
	23	32
当期資金収支額	△ 2	△ 6
	21	26
期末資金残高	21	26
基礎的財政収支	△ 13	△ 17

主な財務指標	単体	
	単体	連結
	純資産比率	0.86
実質純資産比率	0.59	0.59
受益者負担率	0.075	0.150

## 行政コスト計算書【PL:Profit and Loss statement】

会計期間中の海老名市の業績(費用と収益)を示します。現金主義会計では捕捉することができなかった、現金の支払いを伴わない費用(減価償却費など)についても、発生主義会計では表示されます。

行政コスト計算書		
	単体	連結
経常費用(総行政コスト) ①	49,944	59,434
1 経常業務費用	34,785	36,125
(1) 人件費 (職員給与費など)	7,417	7,700
(2) 物件費 (物品の購入など)	3,626	4,103
(3) 経費 (委託料や報償費など)	22,577	23,149
(4) 業務関連費用 (公債費の利払分など)	1,165	1,173
2 移転支出	15,159	23,309
(1) 他会計への移転支出 (他会計への繰出金)	0	0
(2) 補助金等移転支出 (負担金、補助金など)	4,106	4,210
(3) 社会保障関係費等移転支出 (児童手当、生活保護費など)	8,636	16,681
(4) その他の移転支出 (補償料、寄附金など)	2,417	2,418
経常収益 ②	3,757	8,945
1 経常業務収益	3,757	8,945
(1) 業務収益 (使用料及び手数料など)	2,968	8,141
(2) 業務関連収益 (預金利息、雑入など)	789	804
純経常費用(純行政コスト) ①-②	46,187	50,489

## 純資産変動計算書【NWM:Net Worth Matrix】

会計期間中の海老名市の純資産が、どのような財源や要因で増減したのかを示します。純資産の増加は、現役世代の負担によって、将来世代の負担が軽減されたこととなります。

純資産変動計算書		
	単体	連結
前期末残高	291,942	294,679
当期変動額合計	1,853	1,472
(1) 純経常費用(純行政コスト) (純経常費用に充てられた財源)	△ 46,187	△ 50,489
(2) 財源調達 (市税や国県支出金など)	57,680	61,856
(3) その他 (資産形成に充てられた財源)	△ 9,640	△ 9,895
期末純資産残高	293,795	296,151

## 資金収支計算書【CF:Cash Flow statement】

会計期間中の海老名市の資金の動きを明らかにするものです。経常的収支、資本的収支、財務的収支の三区分別により表示します。基礎的財政収支(プライマリーバランス)とは、行政サービスに使う政策的経費を借金せずに税金などで賄っているかを見る指標です。

資金収支計算書		
	単体	連結
期首資金残高	2,954	4,085
当期資金収支額	△ 228	△ 703
(1) 経常的収支 (人件費や税収入などの経常的な資金収支)	6,469	6,210
(2) 資本的収支 (工事請負費や財産売却収入などの資本形成活動に伴う資金収支)	△ 8,107	△ 8,350
(3) 財務的収支他 (地方債などの管理に関する資金収支)	1,410	1,437
期末資金残高	2,726	3,382
基礎的財政収支	△ 1,721	△ 2,223